

3 応募に当たって

<在籍高校（在籍予定高校）へ提出するもの>

①応募希望生徒等の生計維持者の課税証明書

②留学計画書（様式1） ※チーム応募の場合は、様式2



派遣留学生の要件

- | | |
|---|--|
| ① | 日本国籍を有する者又は応募時までに日本への永住が許可されている者（在留カード所持者） |
| ② | 本協議会及び機構による事前・事後研修、事前・事後オリエンテーション、壮行会・報告会に参加する意思を表明した者、また、本協議会及び機構が主催する派遣留学生ネットワーク（留学機運醸成のための活動、支援企業等に対する留学計画や活動報告・成果等の情報の提供を含む。）に参加する意思を表明した者 |
| ③ | 在籍高校等において、卒業を目的とした課程に在籍する者 |

3 応募に当たって～派遣留学生の要件～

派遣留学生の要件

- ④ 機構が実施する国内の奨学金「第二種奨学金（予約採用）」に掲げる、家計基準の判定に必要な証明書を提出できる者
- ⑤ 留学に必要な査証を確実に取得し得る者
- ⑥ 留学終了後、在籍高校等に戻り学業を継続する者又は卒業を目指す者
- ⑦ 2026年4月1日時点の年齢が30歳以下である者
- ⑧ 留学中に行うインターンシップ等の報酬や他団体等から留学のための給付型奨学金を受ける場合は、その総額が、本事業による奨学金の総額を超えない者

※「本事業による奨学金の総額」には、留学準備金は含まれません。除いて算出してください。

※文部科学省が実施する「国費高校生留学促進事業」の留学支援金との併給はできません。



3 応募に当たって～派遣留学生の要件～

	派遣留学生の要件
⑨	過去に本事業（Be:GM）、「トビタテ！留学JAPAN（全国募集）」の派遣留学生として採用されていない者 ※ただし、採用された後、本人の責によらず留学開始前に辞退した者は、要件を満たすものとする。
⑩	渡航中の万一の事故・病気等に備えるため、留学開始までに各自で海外旅行保険に加入している者
⑪	在籍高校等が派遣を許可し、受入先機関（※）が受入れを許可する者

※ 受入先機関

諸外国等に所在する法人や団体等で、派遣留学生が実際に学修や探究活動を行う機関（語学学校など）。

受入れの証明や活動を修了したことの証明が可能な機関



3 応募に当たって～受入先機関～

<受入先機関>

諸外国等に所在する法人や団体等で、派遣留学生が実際に学修や探究活動を行う機関（語学学校など）。**受入れの証明や活動を修了したことの証明が可能な機関**

【受入先機関として認められない例】

○ 日本に所在する法人・団体等

※ 日本に所在する法人・団体等の海外事務所は認められます。

○ 滞在先（ホームステイ先、寮、ホテル等）

○ 留学あっせん業者（留学エージェント、旅行代理店、現地ツアー会社等、留学手続き代行・留学先あっせん・滞在中のサポートを行う業者・団体）

※ 留学あっせん業者が受入先機関として認められるのは、留学計画の活動内容が留学あっせん業者の業務・活動に関するものである場合のみ。

○ 個人（親戚・知り合い、教師宅等）

※ ただし、個人が経営する事業に関する活動を行う場合は、その法人・団体等が受入先機関として認められます。



- 採用後、奨学金の受給にあたっては、受入先機関が発行する修了証明書等の書面により受入先機関での活動を証明する必要があります。
- 応募時に受入先機関を確定している必要はありませんが、事前に受入先機関の情報を確認した上で応募することを推奨します。



Be:GMに応募する生徒等は、「トビタテ！留学JAPAN【高校生等対象(全国募集)】」と**同時に応募を申請することが可能**

※ 「Be:GM」と「全国募集」**両方の合格はない。**

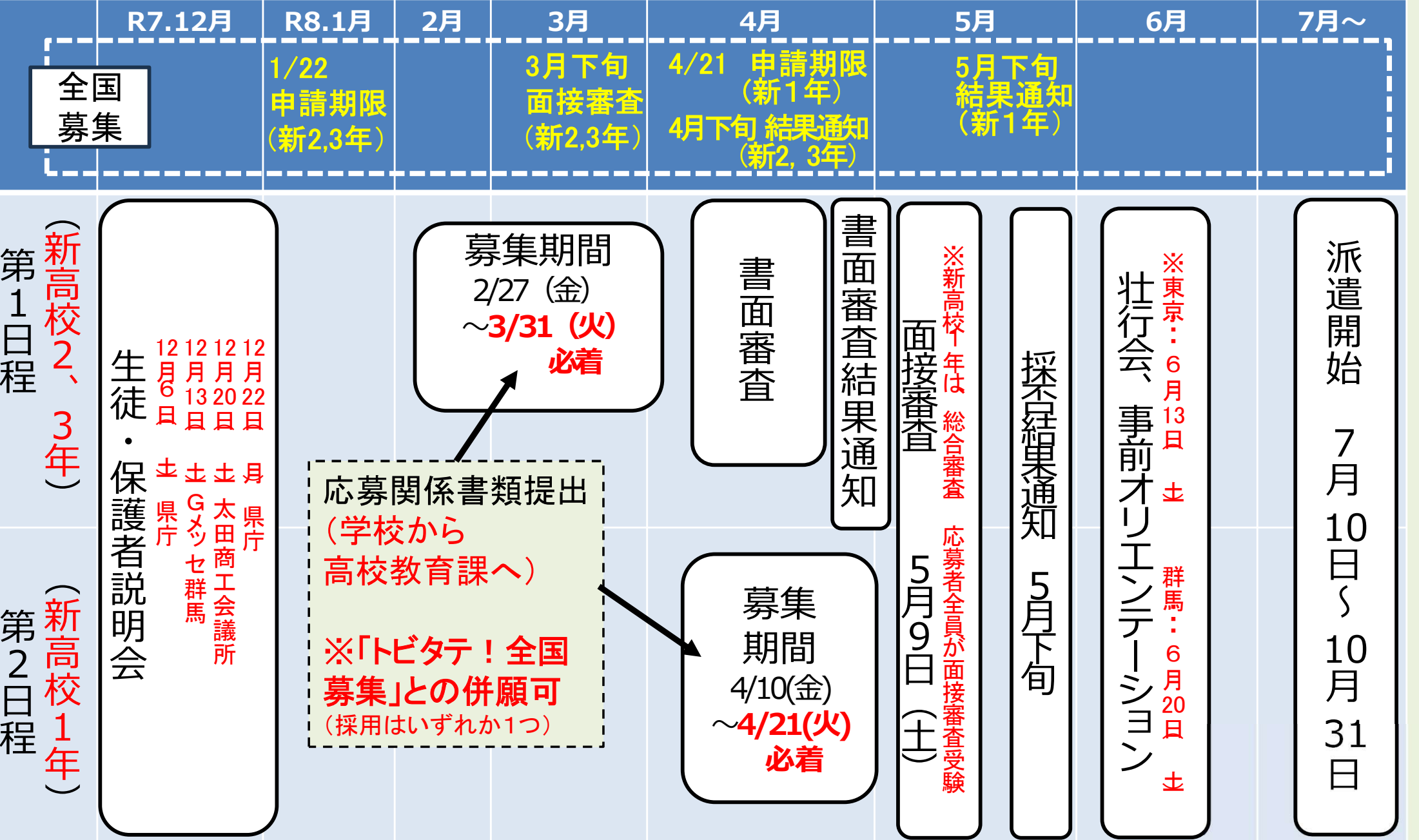
＜例＞ 新高校2年生が、「全国募集」と併願する場合

・ R8年4月下旬 「全国募集」採否結果通知

「全国募集」に採用 → Be:GMを辞退

「全国募集」に不採用 → Be:GMを受験可

事業スケジュール（～R8年 7月）



新高校2、3年と新高校1年では、募集期間が異なる

事業スケジュール（R8年9月～）

	R8. 9月～	10月	11月	12月	R9. 1月	2月	3月	4月
第1日程 (新高校2、3年)	<div>事後オリエンテーション(東京)</div> <div>9月以降 複数開催 いずれか1回に参加</div>			<div>R9生徒・保護者説明会</div>	<div>事後オリエンテーション(群馬) 1月下旬予定</div>		<div>R9募集期間 2月末～3/31</div>	
第2日程 (新高校1年)							<div>報告会(群馬) 3月上旬予定</div>	<div>R9募集期間 4月上旬～4月下旬</div>



3 応募に当たって～留学計画の要件～

<再掲>

- ・採用後、奨学金の受給にあたっては、受入先機関が発行する修了証明書等の書面により受入先機関での活動を証明する必要がある
- ・応募時に受入先機関を確定している必要はないが、事前に受入先機関の情報を確認した上で応募することを推奨。

留学計画の要件

① 留学先国・地域における留学期間がR8年7月10日

(金) から10月31日 (土) までの間である計画

※留学開始日がR8年7月10日 (金) より前の計画は、支援対象外

※「留学開始日」とは、受入先機関で活動を開始する日です。日本出発日、現地到着日及び滞在開始日ではありません。

② 留学先国・地域における留学期間が14日以上93日以内の計画

※留学終了（受入先機関での活動終了）後、10日以内に帰国する必要があります。



留学計画の要件

③ 受入先機関からの受入許可を留学開始前までに得ることができる計画

※ 受入先機関とは、諸外国等に所在する法人や団体等で、派遣留学生が実際に学修や探究活動を行う機関です。個人による受入れは認められません。受入先機関がなく、受入れの証明や活動を修了したことの証明ができない計画は支援の対象外です。

④ 在籍高校等が、教育上有益な学修活動と認める計画

※ 語学学習のみを行う計画は、支援の対象外です。ただし、語学学習が留学全体の準備過程又は補助的位置づけとして計画の一部に含まれている場合は、支援の対象となります。

⑤ 留学の目的に沿った探究活動が含まれている計画

⑥ アンバサダー活動、エヴァンジェリスト活動が含まれている計画

⑦ 受入先機関の所在地が、外務省「海外安全ホームページ」の危険情報及び感染症危険情報の「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」以上に該当する地域ではない計画

※ 応募時点で受入先機関の所在地が「レベル2」以上であっても、選考に差し支えありません。ただし、留学開始時点又は留学中に「レベル2」以上となった場合は、原則、奨学金の支給対象外となります。

3 応募に当たって～留学期間～

以下の日程の場合、留学期間は7/21～8/5（16日間）と8/7～8/30（24日間）の40日間

7/20↩	日本を出国し、英国に到着。ホームステイ開始。↩	↩
7/21～8/5↩	英国の受入先機関で活動。↩	留学開始日:7/21↩
8/6↩	英国からアメリカ合衆国へ移動(※活動はなし)。↩ 語学学校の寮に入寮。↩	↩
8/7～8/30↩	アメリカ合衆国の受入先機関で活動↩	留学終了日:8/30↩
8/31↩	寮を退寮し、アメリカ合衆国を出国↩	↩
9/1↩	日本に到着↩	↩

※「**留学開始日**」は7/21

（日本出国日、英国到着日及びホームステイ開始日の7/20は留学開始日ではない。）

※「**留学終了日**」は8/30

（アメリカ合衆国出国日及び退寮日の8/31や日本帰国日の9/1は留学終了日ではない。）



【生徒から各高校等への提出期限】

各校が、個別に設定

→いつまでに留学計画書を提出すればよいか、
事前に確認しておきましょう。

【高校等から Be:GM事務局（高校教育課）への提出期限】

- ・新高校2、3年 → 令和8年3月31日（火）必着
- ・新高校1年 → 令和8年4月21日（火）必着

＜注意＞

生徒が各高校等に提出する期限ではありません。



旅行エージェント

- 語学学校、受入れホスト先のあっせんをしてくれる。
- 出発前の英会話レッスン、オリエンテーション（留学時の注意点など）あり

<注意点>

- 必ず複数のエージェントと無料オンライン相談を行い、見積書を比較した上で申し込む。（エージェントによって、提示金額、サポート体制は異なる。）
- エージェントを利用する場合は、早めに申し込む方がよい

旅行エージェントに申し込むタイミングは？

○ 選考結果（R8年5月下旬）より前に旅行エージェントに申し込む場合

- ・選考に落ちた場合を考慮しておく。

○ 選考結果（R8年5月下旬）が分かってから申し込む場合

- ・エージェントをキャンセルする必要がある。
- ・エージェントによっては、金額が上がる場合も。
- ・4月以降に語学学校、ホームステイの申込みすると、空きがなくなっている可能性も（エージェントによる）



旅行エージェントに申し込み、計画を立てていたが、採用されなかった場合は、どうすればよいか？

<予定通り留学を行う場合>

- ・最低留学日数（14日間）の制約がなくなる。
→例えば、予定していた自己負担額で対応できる日数（5日程度）に縮小して留学を行うことも考えられます。
（最短1週間から入校できる語学学校も。選考前にエージェントに申し込む場合は、選考に不合格の場合に考え、相談するとよい。）

<留学を取りやめる場合>

- ・旅行エージェントのキャンセル料の有無を事前に確認
- ・エージェントによっては、選考結果（R8年5月下旬）を受けて正式に申し込んでも、対応可能な場合もある。

エージェントを利用する場合、申し込む時期も含めて保護者と十分に相談しましょう。



3 応募に当たって～留学期間～

(例) 募集に関するスケジュール (新高校2年)

※採否結果 (R8年5月下旬) より前に旅行エージェントに申し込む場合

年	月日	応募生徒の動き	留学計画書作成に係る動き
R7	12月	生徒保護者説明会参加	<div>情報収集 (県内企業、 関係機関へ の事前イン タビュー等)</div>
		複数の旅行エージェントに相談、見積書比較→旅行エージェントAに正式申込	
R8	1月	採用されなかった場合を考慮しておく。	<div>在籍高校担当 教員から助言 (複数回)</div>
	2月7日 (土)	留学計画書に係る個別相談会参加 (※相談会:2/7、3/14 県庁にて開催予定)	
	2月27日 (金)	・募集関係書類受付開始 ・在籍高校担当教員へ、課税証明書及び留学計画書(案)提出 →支援金額判定	
	3月初旬		
	3月27日 (金)	在籍高校担当教員へ、留学計画書(完成版)を提出 →担当教員: 関係書類を高校教育課へ提出 (3月31日(金) 必着)	<div>アドバイザー 制度により、 大学教員から 助言</div>

(例) 募集に関するスケジュール (新高校 1 年)

※採否結果 (R8年5月下旬) 後に旅行エージェントに申し込む場合

年	月日	応募生徒の動き	留学計画書作成に係る動き
R7	12月	生徒保護者説明会参加 複数の旅行エージェントに相談、見積書比較	情報収集 (県内企業、 関係機関へ の事前イン タビュー等)
R8	1月		
	2月27日 (金)	募集関係書類受付開始	アドバイザー 制度により、 大学教員から 助言
	3月14日 (土)	留学計画書に係る個別相談会参加 (※相談会:2/7、3/14 県庁にて開催予定)	
	3月中旬	(高校合格発表後) 入学予定高校担当教員 へ、課税証明書及び留学計画書(案)提出 →支援金額判定 留学計画書について相談	
	3月27日 (金)	在籍高校担当教員へ、留学計画書(完成版)を提出 →担当教員: 関係書類を高校教育課へ提出 (3月31日(火) 必着)	
	5月9日(土)	面接審査	高校教育課担 当、入学予定 高校担当教員 から助言 (複数回)
	5月下旬	採否結果通知 →(採用された場合)旅行エージェントに正式申込	

ホストファミリー先や
語学学校が希望通りにな
らない可能性もある。

1 2月 生徒及び保護者説明会 申込状況

【令和7年12月2日時点】

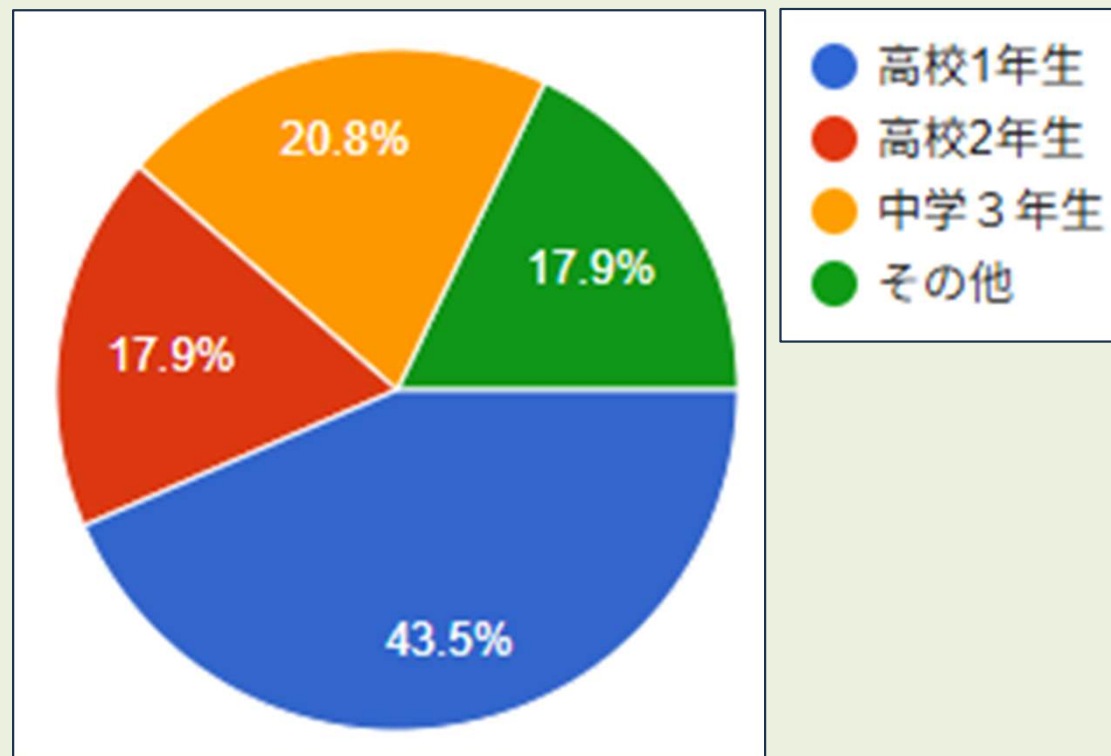
生徒・保護者 計377名

12/6 (土) 県庁 (14時～) 1 1 2名

12/13 (土) Gメッセ群馬 (14時～) 1 4 1名

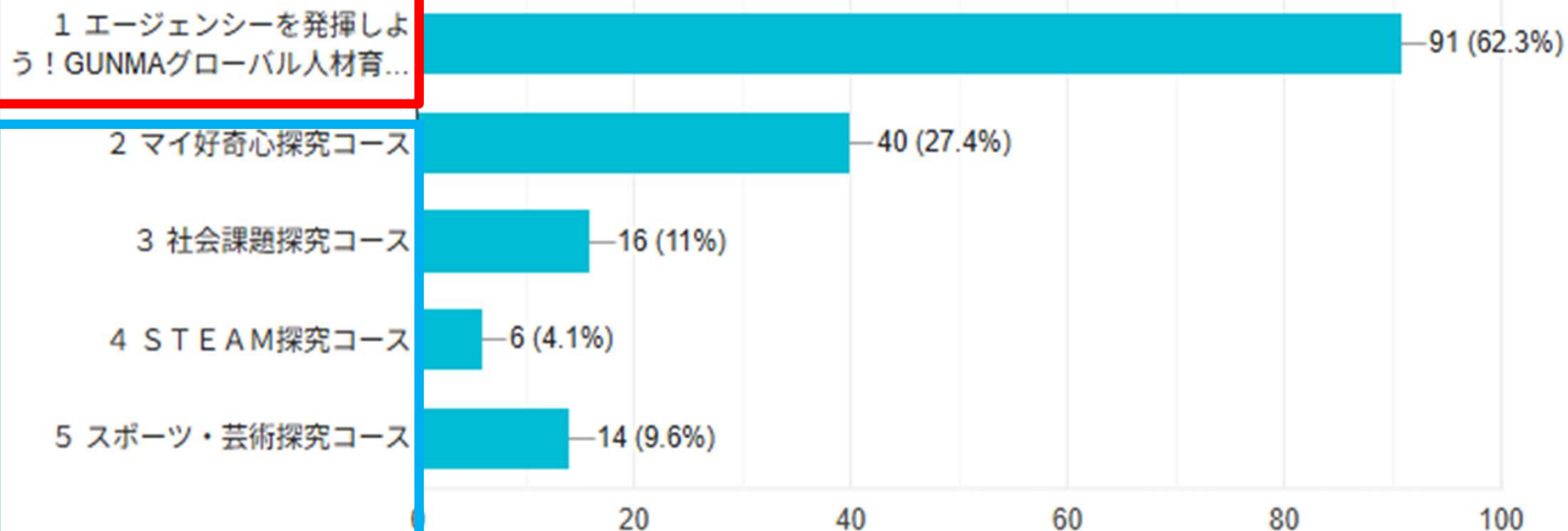
12/20 (土) 太田商工会議所 (14時～) 5 5名

12/22 (月) 県庁 (18時半～) 6 9名



12月 生徒及び保護者説明会 申込状況

最大40名程度



合計 最大10名程度



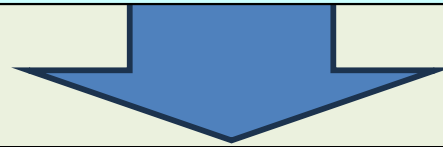
①なぜ留学したいのか？何を探究したいのか？



②留学を通して、どんな自分になりたいか？

（理想の姿を思い描く）

留学で学んだことを、将来にどう生かすか？



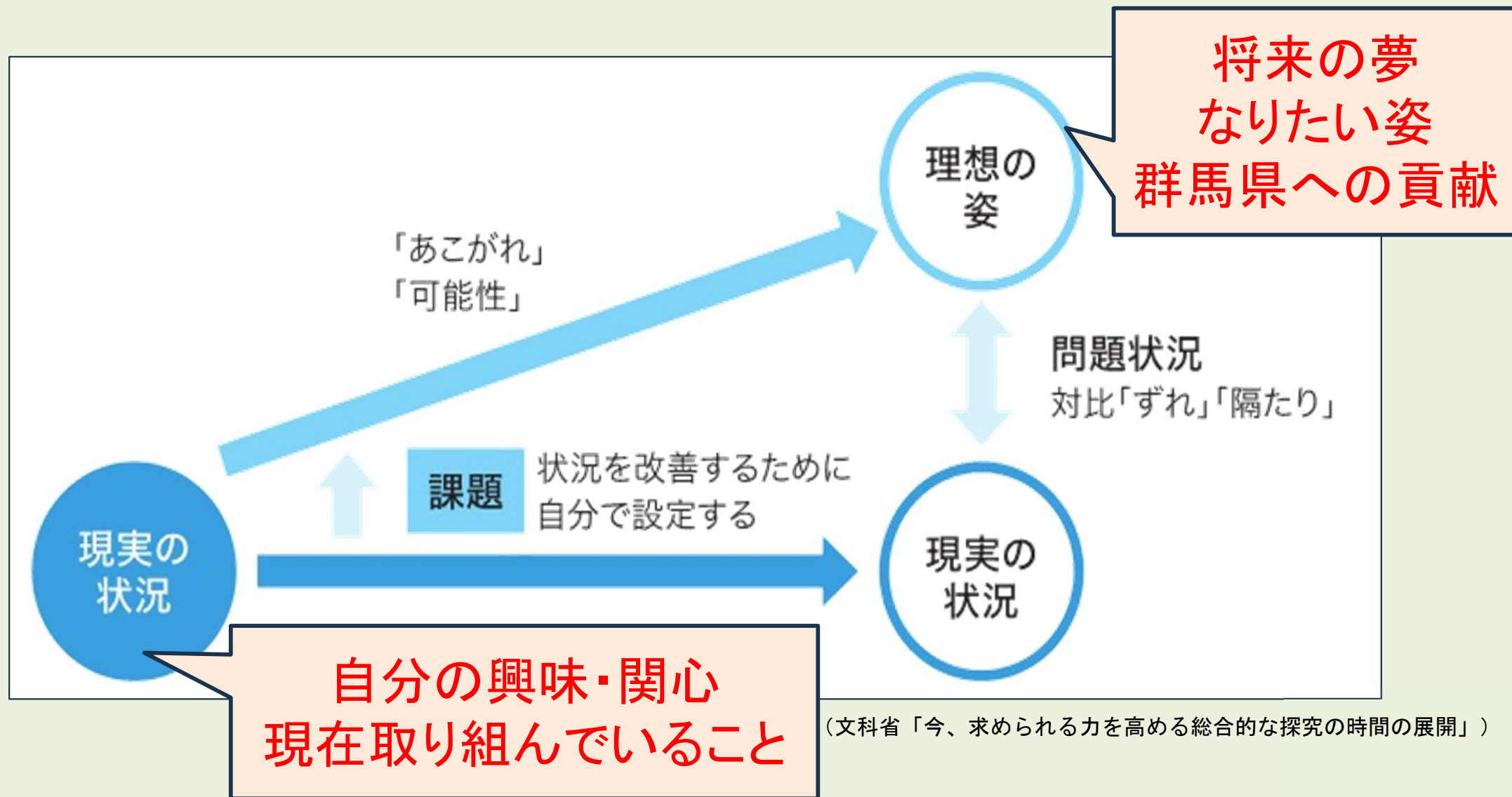
③そのために何をすべきか？

（どのような探究活動をするか？

アンバサダー活動は？エヴァンジェリスト活動は？）



3 応募に当たって～留学計画書作成上の留意点～



「留学計画について、どうやって作成していけばいいのかわかりません」

自分から、たくさんの情報を収集しましょう。

留学大図鑑（「トビタテ」ホームページ）

アドバイザー制度

個別相談会

とまりぎ（「トビタテ」OB・OG組織）



3 応募に当たって～参考情報～

留学大図鑑 (「トビタテ！留学JAPAN」ホームページより)



先輩の留学計画を探す

留学エリアから探す



テーマ・分野から探す



お悩み解決法を探す

先輩たちの留学お悩み回答集

先輩たちの解決方法をチェック



※ アドバイザー制度が利用できる大学については、後日BeGMホームページに掲載予定

アドバイザー制度

目的

高校生等が留学計画書を作成する上で、「いつでも」相談できる体制を整備するため、希望する生徒に対し、事務局員（高校教育課担当指導主事）及び大学教員（※本制度に協力できる大学）が分担して相談に当たり、生徒が主体性をもって本事業に取り組むための支援を行う。

高校教育課が「大学の専門アドバイザーに助言を受ける段階にある」と判断した場合、大学担当部署に下話の後、生徒に連絡

※ 大学によっては個別助言（オンライン又は対面）時、在籍高校の担当教員の同席を条件とする場合があります。

在籍高校の担当教員の同席を条件とする大学のアドバイザーに依頼する場合は、事前に高校担当教員にも相談しておきましょう。



個別相談会

令和8年2～3月 留学計画書作成に当たっての
相談会（助言者 大学関係者、先輩トビタテ生な
ど）を実施予定です。

とまりぎ（「トビタテ」OB・OG組織）

先輩トビタテ生

（「トビタテ！留学JAPAN」による留学経験者）
による様々な助言、サポート



3 応募に当たって～留学計画書(様式1)～ ※チーム応募は様式2



生徒、保護者の安全管理体制

危ないことから 身を守るコツ

詐欺・犯罪・テロへの対応



⚠ 他人の荷物を預からない、飲食物を受け取らない

- 理由：麻薬や危険物を知らずに運搬するリスク、
飲食物に薬物を混入される危険。
- 具体例：
 - 帰国時などに、荷物を運んでほしいと頼まれても絶対に断る。
 - 見知らぬ人からの飲み物・食べ物には絶対に受け取らない。

⚠ 偽警察官や詐欺に注意、疑わしい場合は 「その場で応じない」

- よくある手口：
 - 偽警察官がパスポートや財布の提示を要求。
 - ATMで現金を引き出させる詐欺。
- 対応策：
 - 身分証の提示を求める。
 - その場で現金やカードを渡さない。
 - 不審なら「大使館に確認します」と伝えて退避。

⚠ テロや災害時は、 「伏せる・頭部保護・安全確保→大使館連絡」

- 初動行動：
 - 爆発音や銃声がしたら、すぐに伏せて頭を守る。
 - 安全な場所（建物内や遮蔽物）に移動。
- 次のステップ：
 - 現地の治安情報を確認。
 - 外務省「たびレジ」や大使館に安否連絡。
 - SNSでの無用な発信は控える（デマ拡散防止）。



留学前の準備

✓ 外務省サイト・アプリで最新情報確認

- 渡航先の治安情勢
- 犯罪手口や防犯対策
- 渡航先の感染症、医療・健康情報
- 出入国時の注意事項
- 入国後の注意事項
- 風習・習慣 など



外務省「たびレジ」に登録しておくで安心！

- 目的：海外滞在中の緊急事態（自然災害、テロ、事故など）
に備え、外務省から安全情報を受け取れる。
- メリット：安否確認や緊急連絡がスムーズ。家族にも安心。
- 登録方法：「たびレジ」ホームページで登録

外務省領事局LINE公式アカウントで登録



海外旅行保険加入（医療費・緊急移送対応）

海外での医療費は高額。
事故や病気で数百万円かかる場合も。
補償内容をしっかり確認して保険に加入。

- 確認事項：
 - 医療費補償額
 - 緊急移送（日本への搬送）対応
 - 損害・盗難補償の有無 など



パスポートの期限は6か月以上あるかチェック！

- 多くの国で入国条件として「残存期間6か月以上」が必要。
- 渡航希望の国のルールを確認する。
- 対策：更新は早めに。コピーを紙とデジタルで保管。



3 応募に当たって～安全管理～

生徒、保護者の安全管理体制

現地での安全対策

❗ 危険地域・人混み回避

- 理由：観光客を狙ったスリや強盗、テロのリスクが高い場所を避けるため。
- 対策：
 - 外務省や現地情報で危険エリアを事前確認。
 - 大規模イベントや混雑する市場・駅は必要以上に滞在しない。
 - イベント等に参加するときは、入退場は混雑時を避ける。



貴重品の管理：外出時は貴重品は最小限 滞在先ではセーフティボックスを利用

- 対策：
 - 外出時は現金・カード・パスポートのコピーのみ持参。
 - 貴重品はセーフティボックスに保管。
 - セーフティボックスの暗証番号はメモせず記憶で管理。
 - ホームステイなどの滞在先でも、スーツケースなど鍵のかかるものに入れて施錠管理する。



見知らぬ人を安易に信用しない

- 理由：詐欺や犯罪の多くは「親切」を装って接近。
- 例：
 - 「案内してあげる」「荷物を持つ」などの申し出は断る。
 - SNSやアプリで知り合った人との単独行動は避ける。



犯罪遭遇時は抵抗せず生命優先

- 重要性：強盗や暴力事件では、抵抗すると危険が増す。
- 対応：
 - 貴重品は渡して命を守る。
 - 安全な場所に退避後、警察や大使館に連絡。
 - 事件の詳細は記録（時間・場所・特徴）して報告。

感染症・健康管理



📍 黄熱・デング熱・エボラなど流行地域情報確認

- 理由：感染症は地域ごとに流行状況が異なるため、最新情報の把握が重要。
- 対策：
 - 外務省・WHO・CDCなどの公式サイトで渡航先の感染症情報を確認。
 - 現地で蚊媒介感染症（デング熱・黄熱など）がある場合、虫よけスプレー・長袖着用を徹底。
 - エボラなど接触感染リスクがある地域では、人混みや医療機関への不要な訪問を避ける。



必要な予防接種を渡航前に完了

- 理由：黄熱など一部ワクチンは入国要件になる場合がある。
- 対策：
 - 渡航先のワクチン要件を外務省・WHOで確認。
 - 黄熱ワクチンは出発10日前までに接種し、イエローカード（接種証明書）を携帯。
 - 破傷風・A型肝炎・B型肝炎など基本的な予防接種も検討。



生水・生ものの禁止、衛生管理徹底

- 理由：食中毒や寄生虫感染を防ぐため。
- 対策：
 - 水は必ずペットボトルの密封品を使用。氷も避ける。
 - 生野菜・生肉・生魚は食べない。加熱済み食品を選ぶ。
 - 手洗い・アルコール消毒をこまめに実施。



3 応募に当たって～安全管理～

生徒、保護者の安全管理体制

心の安全について

身の安全も大切ですが、
心の安全・安心もとても大切です。

もし、不安を感じても、慣れない海外生活で緊張や不安を感じるのは当たり前のこと。



家族に電話をする。友達と話をする。リフレッシュする。
よく食べて、よく寝て、体調を整える。
そして、海外留学に挑んでいる自分に自信をもって過ごしてください。

心を守るために

嫌なことや納得できないことは、
はっきりと「NO!」と言っている。

無理に合わせる必要はありません。
自分の意思をはっきり伝えて大丈夫!

母国語じゃないからと言って弱気になる必要はない。日本語だったら饒舌なはず!
いつもの勢いで話しても大丈夫ですよ!
完璧な英語じゃなくても、話せばなんとかなります。

ホストファミリー、学校の担当者、留学エージェント。
周りに必ず力になってくれる人がいます。
どんなに小さなことでも相談しましょう。

みんな、頑張るあなたの味方です。
一人で抱え込まないで!

留学準備チェックリスト

1. 渡航前準備

- ☐ 渡航先の治安情報（外務省「たびレジ」「海外安全情報」）を確認した
- ☐ 現地の医療事情・病院の場所・保険制度について調べた
- ☐ 渡航先の気候・災害リスク（地震・洪水など）を確認した
- ☐ パスポートの有効期限が滞在期間+6か月以上ある
- ☐ 渡航に必要なビザの種類・期間・取得方法を確認し、取得した
- ☐ 航空券・現地住所・連絡先を保護者・学校に共有した
- ☐ 外務省の海外安全ホームページ等情報収集のためのツールを把握している

2. 健康管理

- ☐ 海外旅行保険（医療費・損害賠償・携行品など）に加入した
- ☐ 定期的に服用している薬・処方箋の英語訳を準備した
- ☐ 留学中にかかる可能性のある病気と対策方法を確認した
- ☐ 自分に合っている薬を準備した

3. 貴重品・書類

- ☐ パスポート・航空券・保険証書のコピーを作成した
- ☐ クレジットカードの利用制限を確認した
- ☐ 緊急連絡先（大使館・家族）をメモした
- ☐ 現地通貨の使い方・ATMの利用方法を把握している

4. 現地対策の再確認

- ☐ 危険地域を確認した
- ☐ ホテルのセーフティボックスを利用する
- ☐ 現地通貨・キャッシュレス決済の準備をした

5. 緊急時対応の再確認

- ☐ 日本大使館・総領事館の連絡先を控えた
- ☐ 緊急時の行動フローを確認した（テロ・災害・事故）
- ☐ 緊急時に使える英語・現地語のフレーズを準備した
- ☐ 留学先の大学・ホストファミリー等との連絡方法を把握している



<在籍高校（在籍予定高校）へ提出するもの>

- ① 応募希望生徒等の生計維持者の課税証明書
- ② 留学計画書（様式 1） ※チーム応募の場合は、様式 2

3 応募に当たって～学校への提出書類～

